

図書館だより

76

絵本と子育て事業

西東京市では、平成15年度から「絵本と子育て事業」を行っています。

これは、絵本を通じての親子の触れ合いと、共に過ごす時間の楽しさや大切さなどを知っていただくために、3~4か月児健康診査時に読み聞かせの実演や、絵本を贈る事業です。

今年で17年目となったこの事業。図書館は事業を通して、お子さんとの大切な時間を過ごせるよう保護者の方を応援します。



小さいお子さん (1~2歳児) 向けおはなし会

各館で絵本の読み聞かせ、紙しばい、手あそび...お子さんといっしょに楽しいひとときを。

ご参加の方へシールを配っています。シールがいっぱいになったらプレゼントも!

詳しくはホームページをご覧ください。

西東京市図書館では、乳幼児を対象とした様々なサービスを行っています。

赤ちゃんからの 図書館デビュー

ちびっこおすすめ 絵本パック



「はじめまして」で紹介している絵本を、3冊セットにしたパックです。

0・1・2歳、各対象年齢ごとに3種類、全部で9種類あります。貸出点数1点で3冊借りられ、持ち運びにぴったりのバッグに入っています。

お子さんの絵本デビューや絵本選びのヒントにいかがですか?

絵本選びのお手伝いリスト

※図書館ホームページでもご覧いただけます。



はじめまして

~赤ちゃんにおくるえほん30冊~

0~2歳のお子さんへ。

対象年齢ごとにおすすめ絵本を紹介しています。お子さんがはじめて触れる絵本の世界、お気に入りの1冊に出会っていただけると嬉しいです。

また、紹介している絵本は、各館でコーナーを設けています。



えほんだいすき 3さい~5さい

乳児期を卒業した3~5歳頃のお子さんへ。

この頃は、人生で最も絵本の読み聞かせを楽しめる「読み聞かせ黄金期」と呼ばれています。

これまで以上に絵本の世界を楽しんでもらえるようなおすすめ絵本をまとめました。

★声の広報をお届けしています。

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら、谷戸図書館(Tel.042-421-4545)へお問合せを。

夏

のイベント報告

こんな楽しいイベントが
たくさんありました!

日本語と英語と虫語?のおはなし会

令和元年7月27日 柳沢公民館 視聴覚室



「こどもげきじょう西東京基金」との共催で、作家のアーサー・ビナード氏の講演会を実施しました。アメリカ生まれですが、流ちょうな日本語で、ふしぎな「ことばのちから」についてお話をいただきました。翻訳された絵本『なずくこのっぺ』や、最新の紙芝居『ちっちゃなこえ』等たくさんの作品の読み聞かせをしていただきました。子ども21人、大人69人の参加があり、笑いの絶えない2時間でした。



いろいろな形の手紙を見ながらのおはなし

もらってうれしい手紙の書き方・もらった手紙を本にしちゃおう

令和元年8月8日 田無公民館 第2学習室



好きな柄の布を選んで、台紙を貼っていきます



完成!!

西東京市在住である手紙文化研究家の中川越^{えつ}さんを講師としてお招きし、参加者が事前に書いた手紙を製本するワークショップを行いました。夏目漱石などの文豪が出した手紙にまつわるお話などから、気持ちを言葉にのせて手紙で伝えることの大切さを学びました。

夏休み自由研究おうえん企画～図書館からのミッションをクリアせよ!

令和元年8月16日 中央図書館



「日本十進分類法」で本の住所を探し中…

子どもたちが、図書館の本の並べ方のヒミツ、百科事典や検索機の使い方をマスターして、図書館からのミッション(謎解き)に挑戦する企画です。以下、参加してくれた子どもたちの感想を一部、ご紹介します。



ミッション参加賞♪

これからも図書館にたくさん行きたいです。

どこに本があるかを調べる本があることを、はじめてしました。

本の量がとても多くて、探すのが大変だったけれど、すぐ探せるような工夫が多くて、すごかったです。

来年もお楽しみに!

行田先生と学ぶ! 西東京市「水」飲み噺^{ばなし} -江戸時代の田無・保谷と用水-

令和元年8月18日 谷戸公民館 講座室

今年も行田健晃先生(徳川記念財団 非常勤研究員)に、江戸時代後期の田無・保谷地域について「玉川上水」と水をめぐり人々の暮らしを中心にお話ししてもらいました。生きるのに欠かせない水を人々はどうやって手に入れていたのか、地域資料(古文書など)を見ながら楽しく学びました。



水にまつわる生活、仕事、争い、環境問題など、色々な観点でのわかりやすいお話!



水を運ぶのに利用されている「サイフォンの原理」を、実験で説明!

※講座内容の要点は図書館ホームページでご覧いただけます。

なるほど! 盲導犬と歩くということ

令和元年8月25日 田無公民館 2階学習室

講師として、西東京市在住の盲導犬ユーザー江黒知子さんをお招きして、盲導犬との生活についてお話いただきました。盲導犬の団体の概要や、道で盲導犬を見かけたときの対応についてお話をお聞きしました。また、実際に目を閉じて机の間を歩くなど、目が見えない体験を通して学びました。



道での盲導犬はお仕事なので、見かけたら温かい無視が大切とのこと。

江黒さんが使っているグッズやアイメイト(盲導犬の協会)の写真を見せてもらいました。



盲導犬が空いているイスを探し、江黒さんが座るまでをみせていただきました。



『いろいろなことばでたのしむおはなし会』Story Time 故事会 이야기들

令和元年8月18日 ひばりが丘図書館 講座室

英語・中国語・韓国語を母語とする方によるおはなし会を開催しました。それぞれの言葉でごあいさつをした後、絵本でよく出てくる言葉を会場のみなさんと一緒に声に出してから、英語、中国語、韓国語と日本語による絵本の読み聞かせをしました。読み聞かせの後は工作や歌、手遊びをして楽しく遊びました。



●今回のおはなし会で読んだ本
「かばくん」→英語、中国語の蔵書あり
(岸田衿子/さく 中谷千代子/え 福音館書店)
「しゃっくりがいこつ」→英語の蔵書あり
(マージェリー・カイラー/作 S.D.シンドラー/絵 黒宮純子/訳 セーラー出版)
「はらべこおあむし」→英語、中国語、韓国語の蔵書あり
(エリック=カール/さく もりひさし/やく 偕成社)

次回(予定)
令和2年1月11日 芝久保図書館

にんにん西東京



西東京市図書館キャラクター
西都右京くん

第25回 「西東京市の愛称道路」

ふだん何気なく歩いている道にもそのいわれが気になる名前がついています。市民の皆さんから付けられ、西東京市の歴史を物語る愛称道路をいくつか紹介します。

旧田無市では、市制20周年記念行事の一環として、通勤通学をはじめ市民生活に深く関わっている主な道路に愛称を設定し、親しんでもらうことを目的に、昭和62年（1987）、田無市道路愛称審議会を設け、33路線（31道路・2水路）に市民から募集した名称をつけ、愛称道路としました。

旧保谷市でも、保谷市道路愛称設定懇話会を設置して19路線の愛称を決定しました。

（一覧表は図書館ホームページでご覧ください。）

① 横山道

住吉町5丁目南入経塚跡より保谷高校、尉殿神社、寶晃院へ向かう道です。古来より横山道あるいは鎌倉街道とも呼ばれ、その幹線につなぐ枝道も鎌倉街道といわれていたようです。横山とは、万葉集の一首にもある「多摩の横山」以来、八王子地域のことを指します。

② フラワー通り

①の横山道が田無第二中学校の北側を通り、谷戸新道へとつながる道で、元来横山道といわれた古道の一部です。東大農場（東京大学大学院農学生命科学研究科付属生態調和農業機構）の中を抜けると、③の府中道と④の鎌倉街道に落ち合います。青梅街道が出来る以前からこの辺りには人が住み、中世の伝馬道として栄えていました。市境を挟む旧田無市と旧保谷市の商店街が話し合いによって命名しました。

③ 府中道

所沢街道から西原1丁目と2丁目の境を行く道です。かつては鎌倉街道と呼ばれ東大農場で分断される前はフラワー通りへつながる中世末期の伝馬道でした。南下して新青梅街道、青梅街道、西東京市中央総合病院脇の西武新宿線踏切を渡り、石神井川の庚申橋を越え、都立田無高校を過ぎ、多摩湖自転車歩行者道を越えて鈴木街道に出合います。道筋に

は百箇所供養塔、南芝久保庚申塔、青面金剛庚申塔などがあり、今も古道の面影を残します。

④ 鎌倉街道

所沢街道の六角地藏交差点から南西へ向かう古道です。東大農場を横切ってフラワー通りへつながり、遠く日光街道の千住宿と八王子の横山道を結び、さらに鎌倉へと通じていました。久米川街道と新青梅街道を渡り、芝久保図書館・公民館の横を通り東京街道を渡って青梅街道までの道です。



『高齢社会の消費者トラブル』

令和元年9月14日 田無公民館 視聴覚室

講師に法テラス多摩法律事務所の弁護士である村井宏彰氏をお招きし、国民生活センターにおいても高齢者の相談件数が多い消費者トラブルについてお話いただきました。高齢者はなぜ消費者トラブルに巻き込まれやすいのか、どのような手口があるのかなどを参加者の実体験も伺いながら話を進めていただきました。

参加された方からは「現実的で身にせまるお話でした」「はっきりと断る事が大事だと再認識した」などのお声をいただき、講演会を「くり返して開設願います」との期待も寄せられました。

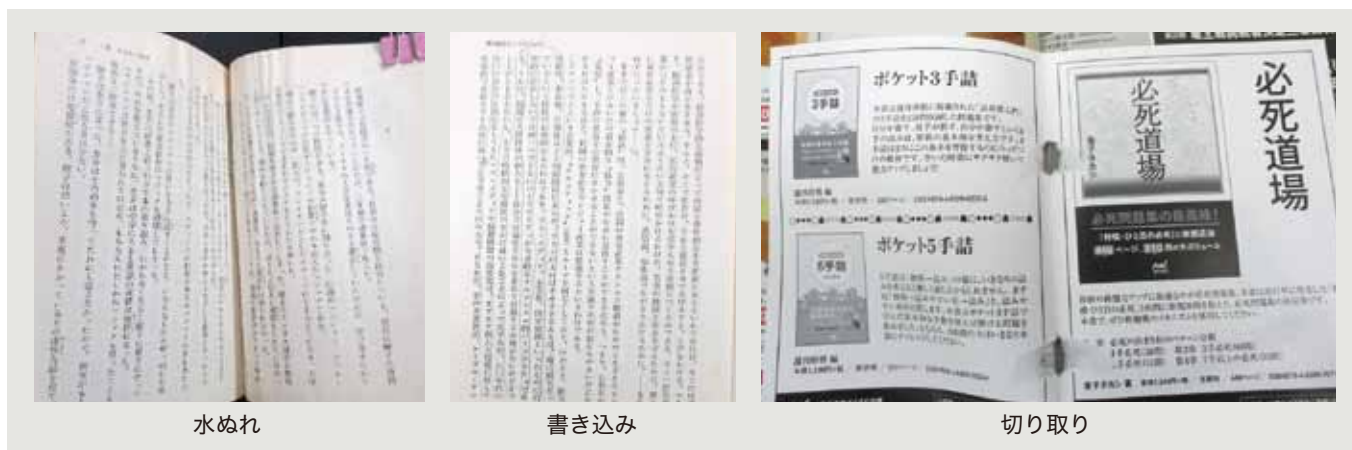
中央図書館の「暮らしに役立つ法律情報コーナー」には、消費者トラブルだけでなく、他の様々な法律関連の図書や雑誌、法律相談窓口を案内するリーフレット等をまとめてありますので、ぜひご活用ください。



図書館からのお知らせ

本を大切に ～本が泣いています～

写真のような状態で返却される資料があります。



図書館の資料はみなさんの共有の財産です。

だれもが気持ちよく利用できるよう、大切にお取り扱いください。

- 本が破れた場合はそのまま図書館へお持ちいただき、図書館職員にお知らせください。ご自宅にあるセロハンテープは時間が経つと劣化しますので、使用しないでください。
- 図書館の本やCDをなくしたり、汚したり破損した場合は、同じものを弁償していただく場合があります。



セロハンテープ使用

小さなアーティスト



東伏見小学校6年

私は幼稚園に通っていた頃から母にたくさん絵本を読んでもらっていた影響で、小学校に上がるとすぐに色々な本を読み始めました。誕生日やクリスマスには、本屋さんで買ってもらっていたりもしましたが、学校から帰ってきて一日に一冊は読むほどのハイペースだったため、よく図書館を利用していました。

大判の高価な本、何十冊も続いているシリーズもの、自分では手に取らないような友達のおすすめ。図書館で読むこともあったし、スポーツのクラブの帰りに寄って何冊も抱えて帰ることもよくありました。

中学生になると勉強が忙しくなったこともあり、図書館から足が遠のいていましたが、高校生になってから、再び頻繁に図書館を利用するようになりました。それは主に学校の課題図書です。小学生の頃のように好きな本を何冊もという借り方ではなく、読むのに時間がかかる難しい本や新書を借りることが多く、

利用者エッセイ

わたしと 図書館

(H.M)

レポートや論文の参考資料を探したり、新聞の記事を読みに来ることもあります。通っている高校にも豊富な蔵書を持つ図書館を備えています。やはり小さい頃から通っていたからでしょうか。私は慣れ親しんだ西東京市の図書館に足が向かいます。

約十年前と違う利用の仕方をするようになって、図書館には最近出版された新書や専門分野の入門書も豊富にあることを知り、勉強や調べ物にも適している場所であると気づきました。

老若男女、子供大人、学生社会人問わず、誰にもその人自身に適した

図書館の利用の仕方があると思います。多忙で図書館ではあまり時間を過ごせない場合でも、職員の方は素早く丁寧に対応してくださるし、私のようにインターネットでの予約を活用すれば、メールで通知もしてもらえるのでとても便利です。

市民の皆さんには、是非ご自身にあった図書館の活用をおすすめします。